

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>○抽出案件について</p> <p>1 東讃地区広域監視システム設置工事</p> <p>Q 1 落札候補者の低入札価格調査は実施したか。</p> <p>Q 2 予定価格及び低入札価格調査基準価格は適正であったか。</p> <p>Q 3 総合評価における技術者の評価点数が「0」となっているが、なぜか。</p> <p>Q 4 技術者の工事経験がなく、無効となった業者は、無効となることがわかっていたのか。</p> <p>2 御殿配水池築造工事</p> <p>Q 1 入札価格の差が小さい理由は何か。</p> <p>3 琴平町町道落合線配水管本設工事</p> <p>Q 1 1者応札と同程度に応札者なしもあるか。</p> <p>Q 2 入札回数は1回か。</p> <p>Q 3 予定価格を超えた応札はあったか。</p> <p>4 府中湖崩壊防止工事</p> <p>Q 1 工期が延長となった理由は何か。</p> <p>Q 2 工期の延長により、工事内容や金額の変更は行ったか。</p> <p>5 観音寺市市道河内池線配水管更新工事</p> <p>Q 1 落札率が高い理由は何か。</p> <p>○ その他</p> <p>Q 1 指名停止について、同様の事案で措置期間に差があるのはなぜか。</p>	<p>A 1 対象者が無効となったことから、低入札価格調査は実施していない。</p> <p>A 2 見積を基に積算しており、適正であったと考えている。</p> <p>A 3 指定資格を保有していなかったこと及び5年以内に評価対象となる工事規模の実績がなかったこと等による。</p> <p>A 4 技術者の実績要件について、電気工事の資格で入札参加資格を満たすと誤った判断をしたと考えられる。</p> <p>A 1 工事内容が土木構造物築造工事であるので、各社の積算金額に差が出にくいものと考えられる。</p> <p>A 1 今年度不調となった案件は1件あったが、令和3年度以前の案件は把握していない。</p> <p>A 2 そのとおりである。</p> <p>A 3 予定価格は事前公表しているため、予定価格を超えた応札はない。</p> <p>A 1 追加の修繕工事が発生したことにより、工期を延長した。</p> <p>A 2 工事内容の変更及び増額を行った。</p> <p>A 1 応札業者が実勢価格を適切に反映させたことや業者として利益を確保するために、落札率が高くなったと推測される。</p> <p>A 1 前回の指名停止から3年以内であることから、加重措置によるものである。</p>